

平成 27 年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰優秀賞組織

【環境保全型農業直接支払】

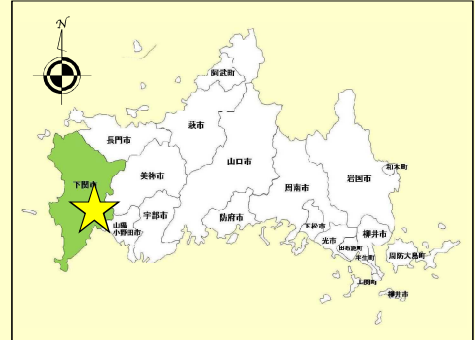
きくがわちよう いなさくけんきゅうかい
「菊川町レインボー稲作研究会」(山口県下関市)

(1) 事業取組概要

- 取組内容：5割低減と緑肥作付・堆肥施用、有機農業の取組
- 取組面積：1,666a(緑肥1,016a、堆肥221a、有機429a)(H26年度)
- 対象作物：水稲

(2) 構成員数(うち取組農業者数)

- 会員24名(20名)



【組織の取組概要】

本会は、平成4年に設立して以降、化学肥料・化学合成農薬を使用しないアイガモ水稲同時作など環境保全型農業に取り組んでいます。

「安全でおいしいお米を提供していく」ことを常に念頭におき、化学肥料・



ほ場でのアイガモの様子

化学合成農薬を削減するため様々な栽培技術に試行的に取り組み、米ぬか除草・温湯種子消毒等の新技術を導入し、それぞれの農家にあった生産方法を取り入れ、活動を発展させてきました。

販売先との契約栽培により、安定した販売対策を講じるとともに、消費者や子供たちに、農業への理解促進となる活動を実施しています。

【主な取組内容】

- 共同温湯消毒機の導入、疎植栽培による病害抑制やアイガモの放飼・米ヌカ散布による雑草の抑制等、化学合成農薬に頼らない技術の導入に努めています。
- 新規会員へは、本会の熟練者が重点的に指導を行うとともに、全会員では場巡回を行うなど会員間の技術の交流・向上に意欲的に取り組んでいます。
- 園児を対象とした放鳥行事、田植・稲刈等の農作業体験を通じた消費者との交流や地域イベントの食材としてアイガモ肉を提供(栽培期間終了後、アイガモを共同肥育し肉質を向上)するなどの活動を通じ、環境保全型農業の理解増進に努めています。



園児によるアイガモ放鳥行事



消費者交流・農業体験



共同のアイガモ肥育場